



## 2020年9月期 決算短信(日本基準)(非連結)

2020年11月12日

上場会社名 川岸工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 5921 URL <http://www.kawagishi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金本秀雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役業務統括部長 (氏名) 林伸彦 TEL 04-7143-1331

定時株主総会開催予定日 2020年12月22日 配当支払開始予定日 2020年12月23日

有価証券報告書提出予定日 2020年12月23日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年9月期の業績(2019年10月1日～2020年9月30日)

#### (1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期	19,913	13.8	1,425	2.5	1,522	2.8	801	27.1
2019年9月期	23,102	10.3	1,390	51.7	1,566	49.1	1,099	48.3

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利益 率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年9月期	276.70		3.4	5.5	7.2
2019年9月期	377.52		4.8	5.6	6.0

(参考) 持分法投資損益 2020年9月期 百万円 2019年9月期 百万円

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年9月期	28,575	23,704	83.0	8,221.07
2019年9月期	27,197	23,276	85.6	7,993.68

(参考) 自己資本 2020年9月期 23,704百万円 2019年9月期 23,276百万円

#### (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年9月期	2,843	1,700	318	5,255
2019年9月期	2,073	375	365	4,431

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産配当 率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年9月期		0.00		80.00	80.00	232	21.2	1.0
2020年9月期		0.00		80.00	80.00	230	29.5	1.0
2021年9月期(予想)		0.00		80.00	80.00		31.3	

### 3. 2021年9月期の業績予想(2020年10月1日～2021年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,000	5.2	600	24.1	670	24.2	470	16.1	162.27
通期	20,000	0.4	900	36.8	1,050	31.0	740	7.7	255.49

## 注記事項

### (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
以外の会計方針の変更	: 無
会計上の見積りの変更	: 無
修正再表示	: 無

### (2) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年9月期	3,000,000 株	2019年9月期	3,000,000 株
期末自己株式数	2020年9月期	116,597 株	2019年9月期	88,128 株
期中平均株式数	2020年9月期	2,896,351 株	2019年9月期	2,911,966 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.経営成績等の概況の(4)今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	6
(3) 株主資本等変動計算書	7
(4) キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(会計上の見積りの変更)	10
(貸借対照表関係)	10
(持分法損益等)	10
(セグメント情報等)	10
(1株当たり情報)	11
(重要な後発事象)	11
4. 補足情報	12
(1) 役員の異動	12
(2) 生産,受注及び売上の状況	13

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当事業年度における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により国内外の経済活動が抑制され、景気は急速に悪化しました。緊急事態宣言の解除後は経済活動が徐々に再開されましたが、第二波を思わせる感染者の増加が起きており、今後の先行きは予断を許さない状況が続いております。

当業界におきましては、新型コロナウイルス感染症による進行中の工事への影響は大きな混乱が生じるまでには至らなかったものの、長引く景気の悪化が鉄鋼メーカーの収益回復を著しく妨げている上、中小規模の案件では設備投資の縮小・延期等が始まっており、限られた需要をめぐってゼネコン同士の激しい受注競争が鉄骨単価を急激に押し下げており、先行きが大変厳しい環境にあります。引き続き、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策の継続と生産活動維持の両立等が重要な経営課題となっております。

このような状況の中、当社は受注に鋭意努力した結果、受注高は通期で前期比30.8%増の24,052百万円となりました。当期末の受注残高も、前期比37.5%増の15,164百万円となりました。

一方で、ゼネコンの工期工程の遅延等により工場の稼働率が伸びず、完成工事高は前期に比べ13.8%減の19,913百万円となりました。

#### (鉄骨事業)

主な受注工事は「虎ノ門一・二丁目地区第一種市街地再開発事業に伴う施設建築物新築建築工事」、「虎ノ門・麻布台地区第一種市街地再開発事業施設建築物A街区」、「関東学院大学関内キャンパス新棟建設工事」、「岐阜県庁舎行政棟建築工事」、「長崎TEC増強工事CR棟」、「(仮称)福山配送センター増築工事」、「(仮称)DPL広島観音新築工事」であります。

主な完成工事は「銀座六丁目ホテル計画」、「(仮称)東新橋1丁目計画新築工事」、「コナミクリエイティブセンター銀座新築工事」、「(仮称)山下町A街区ホテル計画新築工事」、「(仮称)市川市新第一庁舎新築工事」、「株式会社神戸製鋼所加古川製鉄所3CGL建設工事中層棟・低層棟」、「マイクロンメモリジャパン合同会社F2棟およびC4棟プロジェクト」、「三隅発電所2号機新設工事のうち本館建物その他工事」であります。

#### (プレキャストコンクリート事業)

主な受注工事は、「(仮称)江東区亀戸6丁目計画(住宅棟)」、「(仮称)京急川崎本町計画」、「横須賀火力発電所1、2号機建設工事」であります。

主な完成工事は、「(仮称)千葉県鴨川市浜荻計画」、「(仮称)京急川崎本町計画」、「(仮称)トーハン本社ビル新築計画」であります。

損益面では、採算性が向上したこと及び設計変更による増額が寄与したこと等により、営業利益は1,425百万円(前期比2.5%増)、経常利益は1,522百万円(同2.8%減)となりました。また、特別損失に補償損失引当金繰入額を240百万円計上した結果、当期純利益は801百万円(同27.1%減)となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

総資産は、前事業年度末の27,197百万円から当事業年度末は28,575百万円となり、1,378百万円増加しました。この主な理由は、受取手形、完成工事未収入金及び投資有価証券等が減少したものの、現金預金及び有形固定資産等の増加によるものであります。

総負債は、未成工事受入金及び役員退職慰労引当金が減少したものの、工事未払金、未払法人税等及び補償損失引当金が増加したことにより950百万円の増加になりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金が減少したものの、利益剰余金の増加により428百万円の増加になりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

営業活動によるキャッシュ・フローは、主に未成工事受入金の減少、法人税等の支払及び役員退職慰労引当金の減少等がありましたが、税引前当期純利益が1,282百万円の計上、売上債権の減少、減価償却費の計上及び仕入債務の増加等により、3,013百万円の資金増加となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得等による支出により、1,700百万円の資金減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払等により、318百万円の資金減少となりました。

以上の結果、「現金及び現金同等物」は824百万円増加し、当期末残高は5,255百万円となりました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年9月期	2017年9月期	2018年9月期	2019年9月期	2020年9月期
自己資本比率 (%)	81.0	81.3	78.4	85.6	83.0
時価ベースの自己資本比率 (%)	33.2	63.7	40.6	25.2	25.3
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	—	—	—	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	976.0	3,802.8	51.3	1,207.6	1,932.7

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※株式時価総額は 期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

※有利子負債は、貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っている全ての負債を対象としております。

※営業キャッシュ・フロー及び利払いは、キャッシュ・フロー計算書に計上されている「営業活動によるキャッシュ・フロー」及び「利息の支払額」を用いております。

※計算の結果がマイナスとなる場合は、「—」で表示しております。

## (4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、2021年に延期になった東京オリンピック・パラリンピック開催により首都圏の再開案件等の工程への影響及び少ない受注案件獲得のために激しい受注競争が予想されることから鉄骨単価の急激な下落による影響が懸念されております。

さらに、鋼材価格の高騰、輸送費の増加、人件費の上昇や技能工の確保などの不安材料もあり、先行きは不透明であります。

新型コロナウイルス感染症による影響はあると考えておりますが、もし感染症拡大がさらに拡大傾向になれば業績に影響する可能性があることから予断を許さない状況であります。

上記のような厳しい環境が想定されることから、来期は完成工事高は20,000百万円(当期比0.4%増)、営業利益900百万円(同36.8%減)、経常利益1,050百万円(同31.0%減)、当期純利益740百万円(同7.7%減)を見込んでおります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国際的な事業展開や資金調達を行っておりませんので、日本基準に基づき財務諸表を作成しております。

## 3. 財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年9月30日)	当事業年度 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	4,431,086	5,255,112
受取手形	448,385	360,623
完成工事未収入金	13,855,212	13,789,361
未成工事支出金	981,030	498,711
材料貯蔵品	190,252	249,766
前払費用	8,005	15,801
未収入金	13,579	38,421
その他	67,621	26,958
貸倒引当金	△4,364	-
流動資産合計	19,990,810	20,234,757
固定資産		
有形固定資産		
建物	3,678,247	4,666,086
減価償却累計額	△2,649,390	△2,614,976
建物(純額)	1,028,857	2,051,110
構築物	980,654	1,052,884
減価償却累計額	△783,201	△804,288
構築物(純額)	197,452	248,595
機械及び装置	5,600,046	6,105,651
減価償却累計額	△4,436,059	△4,693,256
機械及び装置(純額)	1,163,987	1,412,395
車両運搬具	68,248	75,502
減価償却累計額	△65,323	△66,636
車両運搬具(純額)	2,925	8,866
工具器具・備品	226,463	276,885
減価償却累計額	△202,320	△196,198
工具器具・備品(純額)	24,143	80,687
土地	3,461,504	3,458,404
建設仮勘定	124,549	57
有形固定資産合計	6,003,419	7,260,116
無形固定資産		
その他	15,206	17,289
無形固定資産合計	15,206	17,289
投資その他の資産		
投資有価証券	649,727	545,927
関係会社株式	4,650	4,650
関係会社長期貸付金	26,250	29,195
長期前払費用	9,039	17,139
前払年金費用	190,383	161,297
保険積立金	65,949	65,949
賃貸不動産(純額)	236,883	236,393
その他	31,655	29,580
貸倒引当金	△26,250	△26,320
投資その他の資産合計	1,188,288	1,063,812
固定資産合計	7,206,914	8,341,218
資産合計	27,197,724	28,575,975

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年9月30日)	当事業年度 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
工事未払金	2,513,444	3,155,506
リース債務	2,180	2,759
未払金	215,514	290,183
未払費用	200,560	177,009
未払法人税等	—	273,383
未成工事受入金	213,457	8,800
預り金	41,483	56,346
賞与引当金	59,738	89,629
その他	36,857	54,564
流動負債合計	3,283,235	4,108,183
固定負債		
リース債務	—	12,440
繰延税金負債	51,921	865
退職給付引当金	185,772	195,828
役員退職慰労引当金	127,813	—
補償損失引当金	240,000	480,000
その他	32,407	73,991
固定負債合計	637,914	763,126
負債合計	3,921,150	4,871,310
純資産の部		
株主資本		
資本金	955,491	955,491
資本剰余金		
資本準備金	572,129	572,129
その他資本剰余金	227	6,073
資本剰余金合計	572,357	578,203
利益剰余金		
利益準備金	238,872	238,872
その他利益剰余金		
固定資産圧縮積立金	30,042	28,763
配当平均積立金	720,000	960,000
別途積立金	19,368,000	19,868,000
繰越利益剰余金	1,328,203	1,157,944
利益剰余金合計	21,685,118	22,253,581
自己株式	△146,252	△218,443
株主資本合計	23,066,715	23,568,832
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	209,858	135,832
評価・換算差額等合計	209,858	135,832
純資産合計	23,276,574	23,704,665
負債純資産合計	27,197,724	28,575,975

## (2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)	当事業年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)
完成工事高	23,102,198	19,913,065
完成工事原価	20,958,074	17,706,341
完成工事総利益	2,144,124	2,206,724
販売費及び一般管理費		
役員報酬	110,676	110,134
従業員給料手当	317,015	320,965
退職給付費用	9,103	17,020
役員退職慰労引当金繰入額	1,757	1,623
株式報酬費用	—	12,926
法定福利費	53,908	55,127
福利厚生費	7,232	5,986
修繕維持費	6,821	8,059
事務用品費	7,865	8,307
通信交通費	29,637	32,415
動力用水光熱費	4,552	4,696
調査研究費	5,894	9,118
貸倒引当金繰入額	3,283	—
交際費	12,346	7,440
地代家賃	21,984	21,909
減価償却費	14,260	14,559
租税公課	76,726	82,011
保険料	5,506	5,061
雑費	64,941	63,831
販売費及び一般管理費合計	753,512	781,196
営業利益	1,390,611	1,425,528
営業外収益		
受取利息	32	22
受取配当金	32,460	26,535
不動産賃貸料	76,592	76,233
鉄屑売却益	95,874	55,024
その他	34,197	65,187
営業外収益合計	239,156	223,002
営業外費用		
支払利息	1,717	1,471
賃貸費用	8,931	—
調査費用	18,000	—
固定資産除却損	—	21,117
固定資産解体費用	22,006	81,770
その他	12,495	22,052
営業外費用合計	63,151	126,411
経常利益	1,566,615	1,522,119
特別損失		
補償損失引当金繰入額	—	240,000
税引前当期純利益	1,566,615	1,282,119
法人税、住民税及び事業税	430,249	449,201
過年度法人税等	—	50,151
法人税等調整額	37,035	△18,646
法人税等合計	467,285	480,706
当期純利益	1,099,330	801,412



## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金			利益準備金	利益剰余金			
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計		その他利益剰余金			
					固定資産 圧縮積立金	配当平均 積立金	別途積立金	繰越利益 剰余金	
当期首残高	955,491	572,129	227	572,357	238,872	31,140	540,000	17,768,000	2,371,792
当期変動額									
剰余金の配当									△364,018
当期純利益									1,099,330
固定資産圧縮積立金の取崩						△1,098			1,098
配当平均積立金の積立							180,000		△180,000
別途積立金の積立								1,600,000	△1,600,000
自己株式の取得									
自己株式の処分									
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)									
当期変動額合計	—	—	—	—	—	△1,098	180,000	1,600,000	△1,043,589
当期末残高	955,491	572,129	227	572,357	238,872	30,042	720,000	19,368,000	1,328,203

	株主資本			評価・換算差額等		純資産合計
	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
	利益剰余金 合計					
当期首残高	20,949,806	△145,444	22,332,210	393,435	393,435	22,725,646
当期変動額						
剰余金の配当	△364,018		△364,018			△364,018
当期純利益	1,099,330		1,099,330			1,099,330
固定資産圧縮積立金の取崩	—		—			—
配当平均積立金の積立	—		—			—
別途積立金の積立	—		—			—
自己株式の取得		△807	△807			△807
自己株式の処分			—			—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				△183,576	△183,576	△183,576
当期変動額合計	735,312	△807	734,504	△183,576	△183,576	550,927
当期末残高	21,685,118	△146,252	23,066,715	209,858	209,858	23,276,574

当事業年度(自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

(単位：千円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金			利益準備金	利益剰余金			
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計		その他利益剰余金			
						固定資産圧縮積立金	配当平均積立金	別途積立金	繰越利益剰余金
当期首残高	955,491	572,129	227	572,357	238,872	30,042	720,000	19,368,000	1,328,203
当期変動額									
剰余金の配当									△232,949
当期純利益									801,412
固定資産圧縮積立金の取崩						△1,278			1,278
配当平均積立金の積立							240,000		△240,000
別途積立金の積立								500,000	△500,000
自己株式の取得									
自己株式の処分			5,845	5,845					
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)									
当期変動額合計	—	—	5,845	5,845	—	△1,278	240,000	500,000	△170,258
当期末残高	955,491	572,129	6,073	578,203	238,872	28,763	960,000	19,868,000	1,157,944

	株主資本			評価・換算差額等		純資産合計
	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
	利益剰余金合計					
当期首残高	21,685,118	△146,252	23,066,715	209,858	209,858	23,276,574
当期変動額						
剰余金の配当	△232,949		△232,949			△232,949
当期純利益	801,412		801,412			801,412
固定資産圧縮積立金の取崩	—		—			—
配当平均積立金の積立	—		—			—
別途積立金の積立	—		—			—
自己株式の取得		△83,580	△83,580			△83,580
自己株式の処分		11,389	17,234			17,234
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				△74,026	△74,026	△74,026
当期変動額合計	568,462	△72,191	502,116	△74,026	△74,026	428,090
当期末残高	22,253,581	△218,443	23,568,832	135,832	135,832	23,704,665

## (4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)	当事業年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純利益	1,566,615	1,282,119
減損損失	—	3,100
株式報酬費用	—	4,308
減価償却費	338,724	411,679
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3,283	△4,294
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	876	10,056
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	1,757	△127,813
受取利息及び受取配当金	△32,492	△26,557
支払利息	1,717	1,471
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	1,798
売上債権の増減額 (△は増加)	3,234,396	153,613
未成工事支出金の増減額 (△は増加)	△86,317	482,319
その他のたな卸資産の増減額 (△は増加)	△61,593	△59,514
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,680,161	642,061
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	159,409	△204,656
その他	△155,521	443,534
小計	3,290,695	3,013,225
利息及び配当金の受取額	32,492	26,557
利息の支払額	△1,717	△1,471
法人税等の支払額	△1,248,093	△195,245
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,073,377	2,843,067
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△365,867	△1,611,436
有形固定資産の除却による支出	—	△76,910
無形固定資産の取得による支出	△2,782	△6,891
投資有価証券の取得による支出	△7,658	△7,289
投資有価証券の売却による収入	—	2,855
貸付金の回収による収入	970	1,990
貸付けによる支出	—	△4,070
その他	△318	1,210
投資活動によるキャッシュ・フロー	△375,656	△1,700,541
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	5,800,000	5,000,000
短期借入金の返済による支出	△5,800,000	△5,000,000
自己株式の取得による支出	△807	△83,580
自己株式の売却による収入	—	0
配当金の支払額	△362,536	△231,788
その他	△2,378	△3,129
財務活動によるキャッシュ・フロー	△365,722	△318,498
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,331,997	824,026
現金及び現金同等物の期首残高	3,099,088	4,431,086
現金及び現金同等物の期末残高	4,431,086	5,255,112

## (5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

(補償損失引当金)

当社は、過去に製作した高層分譲住宅の一部外壁タイルの剥落に関して、負担が見込まれる補修費用等を補償損失引当金として計上しておりましたが、施工会社との協議の進捗を受けて、会計上の見積りの変更を行いました。

これにより、当事業年度において税引前当期純利益が240,000千円減少しております。

(貸借対照表関係)

偶発債務

(高層分譲住宅の外壁PCタイルの剥落について)

当社が過去に製作しました高層分譲住宅の一部外壁タイルの下地コンクリートからタイル剥落が発生し、調査を進めておりました。その補修費用等については協議中ではありますが、当社の負担が見込まれる金額を補償損失引当金として計上しております。

なお、施工会社との協議は現在も継続中であり、今後の協議次第では変動する可能性があります。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、建設業以外の事業を営んでいないため、セグメント情報については、記載しておりません。

【関連情報】

前事業年度(自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が損益計算書の完成工事高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 2. 主要な顧客ごとの情報

顧客の名称又は氏名	完成工事高(千円)	関連するセグメント名
鹿島建設(株)	10,781,113	建設業

当事業年度(自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が損益計算書の完成工事高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 2. 主要な顧客ごとの情報

顧客の名称又は氏名	完成工事高(千円)	関連するセグメント名
鹿島建設(株)	6,114,318	建設業
清水建設(株)	3,227,280	建設業
大成建設(株)	2,578,316	建設業

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)	当事業年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)
1株当たり純資産額(円)	7,993.68	8,221.07
1株当たり当期純利益(円)	377.52	276.70

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)	当事業年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)
当期純利益(千円)	1,099,330	801,412
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	1,099,330	801,412
普通株式の期中平均株式数(株)	2,911,966	2,896,351

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (2019年9月30日)	当事業年度 (2020年9月30日)
純資産の部の合計額(千円)	23,276,574	23,704,665
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末純資産額(千円)	23,276,574	23,704,665
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	2,911,872	2,883,403

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## (1) 役員の変動

## 1. 代表取締役の変動

該当事項はありません。

## 2. その他の役員の変動 (2020年12月22日予定)

## ①新任取締役候補

取締役	松本 龍丈	(現 営業部長)
社外取締役 (非常勤)	松原 弘幸	(現 伊藤忠丸紅住商テクノスチール(株))
社外取締役 (非常勤)	菅原 二康	(現 エムエム建材(株))
独立社外取締役 (非常勤)	神尾 諭	(現 りそなビジネスサービス(株))

## ②新任監査役候補

常勤監査役	石松 克也	(現 顧問)
-------	-------	--------

## ③退任予定取締役

社外取締役 (非常勤)	清時 康夫
社外取締役 (非常勤)	山下 大
独立社外取締役 (非常勤)	曾田 弘道

## (2) 生産、受注及び売上の状況

## ① 生産実績

製品別	前事業年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)			当事業年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)		
	数量 (屯・m <sup>3</sup> )	金額 (千円)	構成比 (%)	数量 (屯・m <sup>3</sup> )	金額 (千円)	構成比 (%)
鉄骨	74,146	22,364,316	96.3	56,723	18,558,501	95.5
プレキャスト コンクリート	6,869	855,826	3.7	7,489	874,157	4.5
合計	—	23,220,142	100.0	—	19,432,658	100.0

## ② 受注状況

## イ. 受注高

製品別	前事業年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)			当事業年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)		
	数量 (屯・m <sup>3</sup> )	金額 (千円)	構成比 (%)	数量 (屯・m <sup>3</sup> )	金額 (千円)	構成比 (%)
鉄骨	57,480	17,665,687	96.0	63,843	22,330,971	92.8
プレキャスト コンクリート	4,126	729,530	4.0	15,426	1,721,662	7.2
合計	—	18,395,217	100.0	—	24,052,634	100.0

## ロ. 受注残高

製品別	前事業年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)			当事業年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)		
	数量 (屯・m <sup>3</sup> )	金額 (千円)	構成比 (%)	数量 (屯・m <sup>3</sup> )	金額 (千円)	構成比 (%)
鉄骨	34,685	10,835,064	98.3	40,852	14,121,774	93.1
プレキャスト コンクリート	1,173	190,252	1.7	9,093	1,043,110	6.9
合計	—	11,025,316	100.0	—	15,164,884	100.0

## ③ 売上実績

製品別	前事業年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)			当事業年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)		
	数量 (屯・m <sup>3</sup> )	金額 (千円)	構成比 (%)	数量 (屯・m <sup>3</sup> )	金額 (千円)	構成比 (%)
鉄骨	73,608	22,225,382	96.2	57,677	19,044,260	95.6
プレキャスト コンクリート	6,912	876,816	3.8	7,506	868,804	4.4
合計	—	23,102,198	100.0	—	19,913,065	100.0